

HSK

どうじん

第 46 号

昭和48年 1月13日 第3種郵便物認可
H. S. K通巻261号

発行日 平成5年12月10日
(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会
札幌市北区北35条西5丁目1-10
AMS南麻生308号

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北9条西19丁目55
細川 久美子

平成5年 初冬号

医療特集

『多発性嚢胞腎』



腎バンク登録街頭キャンペーン (大通公園)

北海道腎臓病患者連絡協議会

青春の一日(その4)

会長 岩崎 薫



大正時代しかも関東大震災(大正12年9月2・3日)の翌年に生まれた私はやがて70歳の誕生日を迎える。

過ぎ去った遠い遠い幼い日、そして青年時代、軍隊生活など思い起こせば随分長い道のりなのに気持ちだけは少しも変わらぬ青春の夢を追い続けている。が、現実に返れば白髪の見え始めた1人の息子と2人の娘、孫2人を持つ老翁である。透析に入っ

て満17年の歳月がまたたく間に流れ死の淵より甦った私の人生、よく今日まで生きながらえてきたものと、私を支え下さった多くの人々に感謝しております。青春の夢それは遠い遠い半世紀前のはかない想い出であろうか。

先の「どうじん機関紙」44号で米軍将校のメアリーとの出会いの顛末記思いつくままに述べたが、本国のアメリカへ帰ってから何度か書翰が届いた。その一部を紹介しよう。

……彼女は本国へ帰ると陸軍士官を除隊した。暫くハイスクールの教師をして両親が住む「オクラホマ」に住居をかまえていた。やがて婚約者の海軍士官の夫と結婚し1男2女の母親とな

り孫は6人居るといふ。その夫も除隊し夫婦2人の年金生活で今年75歳になった。

30歳代アメリカ州のミセスコンクールでグランプリ賞を受け、そのご褒美として北京、中国、香港と夫と共に観光旅行したが札幌には時間がなくて行くことができなかった。

札幌での想い出、ミスタワイワサキとの出会いのことなど昨日のこのように記憶が鮮明に残っており可愛い少年であったこと(その頃は23歳であった)1949年のクリスマススイブに踊ったことなどがこまかに書き述べられていた。そしてアメリカのオクラホマにご夫婦で旅行にくるようにな……その時は私のホームをホテルとして提供するであろう。札幌駐留時代にお世話になったお札に私共夫婦でガイドを致しましょう。

最近日本の旅行者と街で会うようになり、先日も札幌のハイスクールの学生と街で合い札幌の近況を知ることができた。わずか2年に満たない札幌駐留で

したが最初で最後の赴任地であるだけに想い出が沢山……。

戦争が終わって間もない時だったが日本人の勤勉と行動力は素晴らしい。日本が今日アメリカを凌いで経済大国になったのも、こうした結果の副産物であろう。私の孫が日本語を勉強しています。とても上手に日本語をスピークします。私が日本の札幌へ赴任したことを知っているからなのです。

今日のアメリカは、かつての軍人が失業者となって街は人々で溢れております。

年金生活者も年を追う毎に経済が苦しいです。札幌のミスタワイワサキはどうか。歳を重ねて老婆となったが札幌駐留時代の若さに戻って青春の一日の夢を今一度語り合いたいものです。神はきつと実現させてくれるでしょう。夫よりもよろしく。と結んでいた。

グッバイ、グッバイ
1992・2月

MS、メアリー

感謝状

北海道腎臓病患者連絡協議会殿

貴会は多年にわたり腎臓提供登録の普及啓発のために努力され腎不全対策の推進についての功績はまことに顕著でありますよつてここに深甚なる謝意を表します

平成五年十月二十一日

厚生大臣 大内 啓 伍



厚生大臣から感謝状贈呈

国は毎年10月を腎移植推進期間としています。この月間期間中に、腎移植推進に貢献している団体・個人に対し感謝状を贈呈してい

ます。

道腎協に対し腎移植推進に長年に互い貢献が顕著であると業績が認定され、厚生大臣より10月21日、山口県山口市で感謝状が贈呈され

るとの通達がありました。

岩崎会長が出席して、授与の予定でしたが、体調不良の為、当日は行けませんでした。

改めて、11月8日、午前10時道庁保健環境部長室において同部長より、全道の会員を代表して、感謝状を頂きました。



第35回道腎協ブロック会議開催

平成5年10月30・31日の両日、

札幌市の北海道難病センターで役員・役員代理・オブザーバー・事務局員合計35名により、第35回道腎協ブロック会議と役員研修会が開催されました。

開会後、役員及び同じ仲間の逝去を悼み全員で黙祷を捧げ冥福を祈りました。

岩崎会長からは、「厚生大臣から、腎移植推進に貢献した団体として感謝状を贈呈される事となりました。全道会員のご協力の賜物です。」

「国は給食費の一部負担や入院室の負担、又風邪をひいた時の薬代・ビタミン剤・シップ薬等を保険からはずし自己負担をさせる方向です。」そこで緊急反対署名行動を実施して、11月15日に東京で厚生省迄JPCの仲間と街頭行動を行う。本道からも廣岡副会長が参加する。」というあいさつがありました。

札幌の様運営委員を議長に選出して議事に入りました。



1、報告事項

(1) 全腎協第65回幹事会報告

○佐藤全腎協幹事から報告される。全腎協の公益法人化の途中経過報告。道腎協としては法人化に賛成の方向で討議さ

れる。要介護問題では、道に

ヘルパー増員を要望する。

○質疑

法人化の内容、有料道路

割引の進捗状況、安江監査

(法務局勤務)から法人の

定義の説明。

(2) ブロック活動報告

○小樽ブロックから会長が事務局をやっていたが、入院の為、活動が困難になっている。

○苫小牧ブロックでは福祉ガイドを作成して全会員に配布している。

○釧路・道南ブロックから、長年陳情していた透析施設が9月に開設されたとの報告。

○室蘭ブロックからも、要望していたサテライト病院の開設が報告。

(3) 道腎協前期活動報告

○第16回道腎協総会・全腎協総会ツアー・腎移植推進委員会・15周年実態調査等が報告され

ました。

(4) 道腎協前期会計報告

(5) 道腎協前期会計監査報告

○いづれも全会一致で承認されました。

2、討議事項

(1) 街頭キャンペーンについて

○滝川ブロックでは、健康祭でビデオを放映して効果的であった。全般に「健康祭」や「ふれあい広場」等、沢山の人が1ヶ所に長く留まる場所でキャンペーンを開催すると効果的に登録してくれる。

(2) 社会保障・医療の後退の対応について

○当面は11月15日の街頭行動の結果待ちをする。本道からは廣岡副会長が当日、参加する。また全腎協より連絡があり次第ハガキや署名運動をする事を確認。



法人について説明する安江氏

(3) その他
 ○検査データの読み方(透析患者用)を作り、どうしんに掲載する。

「年金制度と福祉制度」というテーマで、道難病連専務理事の伊藤たてお氏を講師に2時間の役員研修会を開催しました。

社会保障将来像委員会報告では、「社会保障」の目的、「給付水準」が変化する。受益者負担の強化、



役員研修会(伊藤氏)

憲法25条は権利であるが、生活全てを保障するわけではない。公平性、公正性→自己の負担、「公的責任・私的責任の役割分担」、「一部組織に代行→民活導入」という内容の説明でした。
 最後に11月15日の街頭行動への支援を訴え終了しました。
 2日間の長時間にわたって参加者は、休憩も少ない中、大変お疲れさまでした。

「全腎協第23回 滋賀総会に参加して」

全腎協幹事 佐藤利國

去る5月29・30日の両日全腎協第23回総会が水の都琵琶湖畔滋賀県大津市において開催されました。総会については会報紙「全腎協」No.134、135号に掲載されていますので省略させていただきましたが参加した感想について少し述べたいと思います。

さて、私たちの医療、福祉の環境はとても厳しい状況になりつつあります。そんな中で私たち全国の仲間たちは2日間の限られた時間内で障害を持つ者同志の心のふれあいと私たちが生き抜くための患者活動の重要性和方向性などについて大いに語り合い、討議し、その意義について確かめあいました。

総会前夜の交流会には、全国の仲間達400名余が大津プリンスホテルに集いとてもなごやかな雰囲気の中で親睦、交流が行われ、

観光気分そのものでありました。しかし、総会の日のお雰囲気は全く異なりました。地元及び全国各地から参加した、1,000名余りの仲間たち、1人ひとりの顔の表情が真剣であり会場内は終始、熱気と厳しさにあふれていました。

私は今度、前回の総会に引き続き分科会の司会役を福井県の太田幹事とともに務めました。

私たちの分科会のテーマは、「これからの会活動」ということで、福祉八法改正に基づく活動として各地域別、腎友会の組織化の問題、つまり市町村単位の腎友会をつくり各自自治体に対し医療・福祉・行政の改善について要請活動しようとするものです。

さらに国に対しては私たち腎友会の活動や腎友会という団体そのものが社会の中で法的に認められる、つまり人格をもった団体とな



る法人化の問題について、この2つの問題が大きくとりあげられ、担当運営委員会から説明の後、討議に入りましたが沢山の問題点の指摘や質問、意見がとびかき、満席状態の会場内は熱気にあふれ、司会役の私たちは進行するのがやっとでありすごい迫力を感じました。用意された討議時間2時間もあっという間に過ぎ、まだまだ不完全燃焼の内に終了しました。参加した仲間たちが患者活動にいかにか真剣に取り組んでいるかが、ひしひ

しと感じられ何か熱いものを感じました(疲れました)。終了した後、太田氏と2人でウーロン茶を飲みましたが、「おいしかった!」

私はこの2日間、交流会、総会、分科会を通して特に強烈に感じたことは「生きていく!」という楽しさでした。1日おきの透析生活はとても辛いことは当然であるが生きている中で一瞬でも喜び、楽しさ、そして生きていくという興奮を味わう、これが私たちに与えて一番大切であり、生き抜くための原動力であると思いました。

この度は京都の高雄山への山登りと琵琶湖の美しい自然の中で妻と2人で旅をし、とても爽やかであつたし、本当に生きがいと幸福感を味わいました。



医療特集

最近、囊胞腎による透析導入患者が多くなっています。又、透析患者に多囊胞化萎縮腎の方が多く見受けられますので、上戸先生にご寄稿して戴きました(編集部)

「多発性囊胞腎」

光星泌尿器科医院院長 上戸文彦

【A】 多発性囊胞腎(以下ノウ胞腎と略す)とはどんな病気か

ノウ胞腎は1,000人に1人の割合で発生する遺伝性の病気です。腎ぞうに起る遺伝性の病気の中でトップを占めている。肝ぞう(30%)、脾ぞうなど腎以外の臓器にもノウ胞を造り、更に脳の中に動脈瘤(15%)や心ぞうの弁膜にも異常を合併する。

自覚症状が出て来るのは40歳頃からで腎機能の低下の進行はゆっくりで早い人は50歳台で血液透析に導入するが、80歳になっても血液透析を受けない人も居てさまざまです。この違いは遺伝子の研究によると16番目の染色体上にノウ胞腎の責任遺伝子があって細かい所で差があるためと云われている。従って将来遺伝子治療が行える病気である可能性が大きい。

【B】 どんな症状が出現するか

一般的には肉眼的血尿、発熱を伴った側腹部の疼痛、更には高血圧に依る頭痛が現われるが、全く無症状で検尿の結果、蛋白尿、顕微鏡的血尿から偶然発見されるこ

C ノウ胞腎による腎機能低下の原因

糸球体、尿管が存在する両側腎実質内に大小無数のノウ胞が発育、拡大するため、両側腎実質を圧迫し変形させる。その結果働いているネフロン数が減少し、又腎盂腎杯の変形、拡張によって尿の流れが悪化し、二次的に尿路感染（腎盂腎炎）が合併する。更に腎動脈硬化症、高血圧が加わるが、腎機能低下の元凶は働いているネフロン数の減少による。

D ノウ胞腎の腎機能検査

腎機能障害程度を臨床的に測定する方法は沢山あるが、一般的にクレアチニン・クリアランス法が最も信頼性が高いがノウ胞腎では腎の変形、拡張のため採尿が正確ではないため参考程度にとどまる。現在一番頼りになる検査法は放射性同位元素を使った腎シンチグラムでこの方法に依って腎の皮質（ネフロンがある所）の機能が判るの働いているネフロン量が測定できる。腎シンチグラムによりDM

SA（放射性同位元素）の腎摂取率1%以下及び尿素窒素値100%以上、血清クレアチニン値10%以上の場合、血液透析開始時期の目安となる。しかし、高血圧、尿路感染の管理が悪いと更に透析開始時期が早くなる。

E ノウ胞腎の診断方法

超音波やCTスキャンなど画像に依る診断方法が普及して居る現在では、臨床症状がひどくなる以前に診断ができる。更に、遺伝する病気なので家族にこの病気の人居たら進んで診断してもらえば早く発見される。

F ノウ胞腎が原因で血液透析を行っている患者の統計について

血液透析導入患者の原因疾患の推移をみると慢性腎炎の比率は毎年低下し、これに対し糖尿病、高齢者に多い腎硬化症（腎血管の動脈硬化）が実数及び比率が増加して居る。ノウ胞腎の実数は増加して居るがその比率は変わっていない。1992年のノウ胞腎の血液透

析導入者総数は581名で同年導入患者数（21,563名）の2.7%を占めている。これは不明記載なしを除くと慢性腎炎、糖尿病性腎症、腎硬化症に次いで4番目に多い病気である。又ノウ胞腎の導入患者の平均年齢は56歳で中年期以降である。一方1992年導入したノウ胞腎患者の死亡は29名で、その原因は心不全、感染症、脳血管障害、悪性腫瘍の順となる。

これは他の病気の死因の順位と同じでノウ胞腎に特異的でない。他方生存率をみると1983年以降血液透析導入したノウ胞腎患者総数は4,143名でその5年生存率は慢性腎炎のそれよりも高く73.6%であるが9年目の生存率は慢性腎炎のそれとほぼ同率で58%である。

G ノウ胞腎はどんな経過をとるか

一般にノウ胞腎は50歳頃慢性腎不全になるがクレアチニン値の上昇がゆっくりで80歳以上の高齢でも血液透析を免れている人もある。然し、一方では両腎のノウ胞が大きくなって腎機能が保たれて

いるにも係わらず、ノウ胞の圧迫によって呼吸困難や胃腸障害がコントロール出来ず、更に高血圧が存在しクレアチニン値4.5%^注尿量1,200~1,500mlあっても腎摘出が行われる症例もある。

H ノウ胞腎に対してどんな治療が行われるか

腎機能が低下して来ると塩分制限を含む食事療法の指示があり、血清クレアチニン値3%^注以上のときは多くの例で利尿剤が投与される。腎機能の低下は感染症、凝血塊を伴う腎出血によって早められるので尿路感染の予防や止血剤の投与及び安静が必要である。腎ノウ胞が急に大きくなり、腹痛がひどくなり直接ノウ胞穿刺することもあるが余り効果はない。又重症な感染症（膿腎症）が起こった場合は腎の摘出が行われる。一旦血液透析が開始されると腫大つづけていた腎ノウ胞も止まる傾向にあったり、透析中血圧がコントロールできなくなると腎の摘出が行われる場合を除き腎はそのままで透析が継続できる。当院透析患者21名中1名のノウ胞腎の患者は透析歴18

年69歳の女性ですが、現在も両腎及び肝にノウ胞を有して居りますが悪性変化もなく、無事に外来通院中です。然し、此の間1、2回肉眼的血尿、腎盂腎炎様症状（発熱腰痛）が出現しましたがなんとか切り抜けました。尚患者さんの3名の子供さん中1名（女子）がノウ胞腎で現在経過観察中です。

① ノウ胞腎と違う病気が似ている多ノウ胞 化菱縮腎とは

元来ノウ胞のない病気が原因で慢性腎不全になった患者が血液透析に入る前に既にその約20%が腎にノウ胞を有している。しかし、このノウ胞は透析期間と共に増加し、透析3年未満で約40%、10年以上では約90%に存在する。年齢に差はないが、男性に多いと云われている。又この発生原因は不明である。

参考文献

○わが国の慢性透析療法の現況

日本透析療法学会

○多発性嚢胞腎…齊藤 泰

臨床透析（1990年）

○その他

第13回腎バンク登録拡大

（10月3日）全国いつせいの街頭キャンペーン

昭和61年度より厚生省が定めた「腎移植推進月間」に呼応し、道腎協もこの「月間」をより盛りあげ、腎バンク登録者の拡大をめざす啓発運動などの道民的運動を展開しました。

10月3日、一部のブロックを除

き全道ブロックで患者、家族、医療関係者、行政関係者、ライオンズクラブ等が参加し、ティッシュ・チラシ・尿試験紙・風船などを配布して腎バンクへの登録を呼びかけました。また、無料腎臓病相談・無料血圧測定が各地で行われ大変

好評でした。

なお、道腎協と札幌ブロックは、道腎バンク・道腎移植会との共催で地下街（札幌）でのパネル展示に合わせて、17日に実施しました。パネル展示の様子は本号に掲載されています。

滝川ブロック

「腎バンクキャペーン

盛大に終わる」

去る10月3日（日）西友滝川店において滝川市主催第9回市民健康まつりが開催されました。我々透析者の会も参加させていただきまして、この報告致します。

午前9時30分集合、入店許可の手続きをして物品搬入、若い職員の方には特に重いテレビなどお願

いた腎バンクコーナーでビデオ放映の準備、パンフレット、登録カード、ティッシュなどすぐ配布できるよう並べ、風船をふくらますもの、ポスターを貼るものそれぞれ手ぎわよく10時迄準備完了となりました。

ト開店をまつばかりとなりました。昨年迄3Fたきかわホールでした。が今年は1F陽だまり広場に移り



客足も多いことが予想されみな緊

張した様子でした。1Fは献血、薬の相談、栄養指導、アイバンク、ガン予防、保健所、試食、腎バンク、介護用品の9つのコーナー、3Fは医療福祉相談救急消防、歯の相談、エイズその他協賛団体7つ併せて16のコーナーが設けられました。

腎バンクコーナーにも多く市民が関心をもたれ登録カード10枚(昨年は1枚)パンフレット500枚が出ました。今年は市民の出足も大変良く腎バンクコーナーも多忙な1日でした。

(報告 大野源衛)



苦小牧ブロック

「腎バンク拡大キャンペーン」

去る10月10日(日)朝の天候は曇り、10時頃より雨になり、キャンベーンが出来るのだろうか…と心配でしたが、幸いにして集合時間の午後1時頃には薄日が差してきた。

ライオネスクラブ員9名と市役所担当係長が応援に来られ、苦小牧腎友会々員19名、家族2名の合計31名で苦小牧駅北口附近を中心にキャンベーンを開始した。通行人の出足は、午前中の雨の影響か鈍く、昨年の半分ぐらいの人出だった。比較的人出の多いイトーヨーカ堂、長崎屋を主にビラを配布したが、何時ものことながら無関心層が多く、特に若いカップルが目立つ。折角、「こんにはは」と挨拶

しながらビラを渡そうとするとソッポを向く人、手で振り払うようにする人、さも迷惑そうに一寸頭を下げて逃げるように足早やに行く人等々、これらを見るにつけ悲しい気持ちと怒りに似た気持ちが交错する。併し、「大変ですね」、「御苦勞様」と丁寧な挨拶し言葉を掛けて頂いたときは、矢張り嬉しい気持ちで「良かったなあ」と思う。

2時頃終了。どうやら時間中雨も降らず、予定枚数を消化することが出来て幸甚だった。終了後、皆で食事の予定が、店舗が混んで叶わず自由解散となった。

(報告 八巻千敏)

札幌ブロック

「献腎パネル展開催に参加して」

現在の献腎登録者数37万名

日本の人口に対するとあと10



0倍の登録者が必要なのです。毎年新たに透析導入される方が2万5千名、移植を待ち望んでおられる方がおよそ1万9千名、にもかかわらず1年間の死体腎移植数は、わずか206例です。

伸びざかりの子供の身長を止

めることのないように、女性が結婚して子供が生めるように、

男性が職場で存分に働けるように、

透析から開放されて移植へ、新しい扉を開くためにどうぞ力をかけて下さい。

どうか、一人でも多くの方に語っていただきたいのです。どうか、一日も早く腎不全と闘っている方々を救う手助けをしていただきたいのです。心から心へ、人から人へ。

私たちは貴方をお待ちしています。

このようなお願いのもとに「献腎パネル展開催」に参加致しました。

腎不全の唯一の根治療法は、腎臓移植であり、多くの患者がこれを待ち望んでいます。我が国では腎移植を受ける機会がまだまだ少なく、特に善意の死後献腎による移植は、極めて少ないのが現状です。

献腎パネル展では皆様方に、献腎（死後の腎臓提供）についてのご理解とご協力をお願いするため「慢性腎不全、透析療法の現状」「腎臓移植の現状」「献腎移植を受けた人からの感謝の手紙」などのパネ

ルを用意致しました。

日 時 10月15日(金)から

10月17日(日)まで

午前9時から午後5時

まで

場 所 地下街オーロラタウン

内 容 パネル展示(18枚)ビデオ放映、健康相談(平

野医師)

主 催 財団法人北海道腎臓病

者連絡協議会、北海道腎

臓移植者患者連絡協議会



パネル展示展

(延人数 40人)
結果 献腎に関する意識調査
(アンケート) 3日間を
通じて。330人

腎バンク登録者 97人

10月15日 15人

16日 37人

17日 45人

内訳

市立札幌病院腎移植科医長の平

野医師を筆頭に3日間を通じみな

小樽ブロック



さまのご協力ご支援を得られ大成
功でした。深く感謝致します。

取材

報道関係

道新、タイムス、朝日、読売、

毎日、赤旗、(6社)

TV関係

NHK、HBC、UHB、ST

V(4社) (報告 岩崎 薫)





健康保険制度改悪（給食、室料、 薬剤・治療材料の自己負担導入） の反対運動11・5

医療保険審議会（厚生大臣の諮問機関）は、入院給食、室料、薬剤・治療材料（風邪薬・ビタミン剤・貼布剤等）を健康保険からは

ずして、自己負担を導入することを検討しています。そこで、全腎協やJPC（全国患者・家族団体連絡協議会）と共に緊急に自己負

担導入の反対署名を行い、全国で97万人の署名を集めました。

この署名を持って、11月15日に東京の都市会館から、全国から集合した患者・家族の代表500名が、国会・厚生省に向けてデモ行進をしました。

しかし、厚生省側は、自己負担導入の見直しを撤回する見解は示しませんでした。

そこで、全腎協では、厚生大臣と、医療保険審議会委員に対する、自己負担導入の健康制度「改悪」に反対する、全会員の要望書・ハガキ運動をしました。

私達、透析患者は合併症やシャントトラブル等でいつ入院するか分かりません。この自己負担導入は絶対に阻止しなければなりません。この機関紙がお手元に届いている時にはその結果が出ていることでしょう。

この様に、国は、国庫負担を減らし自己負担導入することをこれから検討していく方向です。日頃から、新聞報道等に関心を示して行かなければ、福祉後退の流れを止めることはできません。今こそ、患者会員一致団結して、社会

保障の後退を許さないことが必要です。



議員団に請願署名を渡す



全員でのデモ行進

健康保険制度改革反対 J P C
署名・基金結果報告

平成5年10月28日

「11・15街頭大行動に参加して」

副会長 廣岡達夫

ブロック名	署名数	募金額
札幌	4,994	142,165
小樽	1,203	104,430
旭川	1,261	108,051
稚内	0	0
留萌	372	17,821
道南	1,858	75,800
苫小牧	942	39,000
室蘭	1,080	91,000
滝川	212	19,500
十勝	941	76,300
釧路	1,200	10,867
北見	850	17,500
網走	470	20,400
夕張	91	13,000
紋別	288	37,000
岩見沢	0	0
江別	0	0
浦河	233	23,500
根室	50	3,000
千歳	80	11,000
深川	169	24,628
合計	16,294	834,962



道府県患者、家族の代表が500名ちかく集まりました。

集会は午前10時より都市会館のホールで始まり、最初に主催者を代表してJPCの長代表幹事の挨拶があり、来賓の方々よりの激励の後、患者を代表して大阪、沖縄、北海道の3名の方が患者の立場を訴え、伊藤代表幹事が集会をしめくくり、昼食をとり、1時より長、伊藤両代表幹事などが横断幕を持ち先頭に並び、続いて北海道の人

達以下各県の参加者が続き、各団体、患者会のノボリなどを持ち夏のように暑い好天の中を都市会館を出発し、国会、厚生省に向けデモ行進に出発しました。

デモ参加者の中には車椅子の方もおられ、介助者の方もいて、ゆっくりと行進をし、時々、全員でシュプレヒコールを繰り返しながら進みました。

途中、衆参両院議員面会所前でデモ隊を迎えてくれていた共産、社会、公明の議員、秘書の方々に参加者が持参していた医療法改悪反対の請願署を手渡し、日比谷公園に集結、代表30各余りが厚生大臣との交渉にむかいました。

交渉団は3時前に日比谷公園に戻り結果報告を伊藤代表幹事が行いました。大臣には会えませんでした。厚生省側との交渉では、患者団体との意見のくい違いを認め様とはしなかったとの報告がなされ、新たな強い運動が必要との認識がなされて集会を終了しました。道賢協の会員の皆様にもこれまでに以上に反対運動への御協力をお願いしたいと思います。

私としてはこの代表団に参加させて戴き有意義な1日を過ごしたと思っております。



議員団の激励

ブロック使い

札幌ブロック

「燃えれ！わが街93に参加して」

地域の活性化とお祭りを通して地域文化の創造と躍動の街づくりを求めて、去る8月7日、8日の2日間札幌地区の札幌中央公園、札幌小学校グラウンドにおいて盛大なイベントが開催されました。主催は札幌、東雁来、中沼連合町内会の皆様でしたが、当日は幸いにもお天気も快晴で、会場には17出店、そのほか園芸コーナー、のど自慢カラオケ大会、ジャンボ宝くじ大抽選会、日本舞踊などなど、盛沢山の行事でした。腎臓バンク事務局長の宮崎さんに案内の招待状が届き、腎臓キャンペーンを実施しようということになったのです。

朝9時から午後3時まで、市立札幌病院の平野医師をはじめ腎バンクの宮崎さん、松浦キドニー会



会長、それに私共患者会11人の応援でチーム体制を作り会場に参加する方々にチラシとティッシュを手渡して協力をお願い致しました。地域の方々ですから真剣に受け

とめて下さり腎臓登録者が81名、アイバンク登録者が25名の皆様のご協力して下さいました。

私共は会場内を歩き多くの方々のご賛同を得たことに深く感慨を新たにしました次第であります。

当日は1万人の人出であったところで、このような地域の方々との接点を求めて、こうした運動が実りある成果であったことに、今後の腎臓バンクの運動の方向を思い知らされる1日でもありました。

尚、当日お手伝いしていただいた

釧路ブロック

「道東6地区学習交流会」

10月23日、24日の2日間、阿寒湖畔ニュー阿寒ホテルに於いて、6地区あわせて参加者94名を数え、恒例の道東6地区学習交流会が開催されました。

今回のメインは、なんとといっても、腎移植についての講演でした。講師は、皆さんよく御存知の市立札幌病院腎移植センター腎移植

た方々は次の通りです。

榎 勇 (清田泌尿器科)

岩崎 薫 (渡井医院)

鈴木 啓三 (札幌北クリニック)

金丸 洋子 (札幌北クリニック)

望月 悦子 (河内内科クリニック)

福原真理子 (中野医院)

勝世 正夫 (南一条病院)

西宮 英子 (三樹会病院)

邑田 和子 (三樹会病院)

今村まち子 (札幌北榎病院)

柴田 鉄男 (勤医協丘陵病院)

(報告 岩崎 薫)

科主任医長平野哲夫先生と、同センター移植コーディネーター西垣文敬氏、そして北海道腎臓移植患者連絡協議会(キドニー会)会長の松浦信博氏の3人でした。

平野先生は、最近の腎移植の現状について話されました。その中で特に、シクロスボリンなどの登場により、移植したあとの生着率



て何が一番変わったかというところ、食べ物や味の何を食べてもおいしくなったということでした。

週3回4時間の拘束から解放されて、人生が楽しくなったとも話しておられました。

講演のあとに、移植したくなった人という声に、参加者の半分以上の人が手をあげていました。

今回の6地区交流会は、食事時にもアルコールをまったく出さず、ゲームなども行わないで、この学習会一本にしほりました。

あとで、参加した人に感想を聞いてみたところ、「有意義だった。」「移植したくなった。」「アルコールがなくてちよっぴりさびしかった。」「他の地区の人たちと会えてよかった。」などと話しておられました。

お世話した釧路としても、ホッと胸をなでおろしたところですよ。

道東に根づいたこの6地区交流会が、これからも継続していくことを願いながら報告をおわります。

来年は、十勝地方腎友会が当番です。今から楽しみにしていますのでよろしく。

(報告 橋本 巖)

滝川フロック

「秋の研修旅行」

夜来の雨もあがって、秋の風も爽やかな9月12日、滝川クリニック透析者の会の秋の研修会が行われました。

会場は幌新温泉ほたる館、参加者は院長菅原先生を始めスタッフ9名、患者32名及びその家族3名の総勢44名でした。

10時40分頃目的地に到着、ほたる館は新装になったばかりで美しく設備も整っていました。

直ちに院長先生のご講義がスライドを駆使して行われました。全国及び全道の透析者の現状、血液透析の歴史、合併症の変遷、なかでも透析アミロイド症と今後の問題、そして塩分水分の自己管理がいかに大切かを判りやすく懇切にお話いただきました。

終わりに現在の医療制度の動向、わけても透析医療をめぐる厳しい状況の中、院長先生も極力努力するの患者自身も力を合わせて色々な問題に取り組んで行こうと言う

温かいお言葉を頂いて講義は終わりました。

続いて樋郡会長さんのご挨拶をいただき、楽しい会食となりました。珍しい鯉の活け作りなどに舌鼓をうつうちにお目当ての抽選会となり、思わぬ人に思わぬ物が当たるなど、全員が当たった景品を披露してその度に爆笑で湧き、また羨望の声が上がったりで大いに盛り上がりました。その後はカラオケに興じ、温泉でくつろぎ、楽しく1日を過ごしました。

それにしても、院長先生のとてもしりやすす大事なお話を、この度も聞くことの出来なかつた不参加の誰彼を思い浮かべ、何とも残念な気がしてなりません。帰りのバスから、生育の遅れている稲に心を痛めながらも、見た目には長閑な田園風景に心を遊ばせ、充ち足りた思いで家路につきました。

(報告 嘉見 照子)

「心に残った思い出の本」

小西 誠 一 (函館)



たる面々が、それぞれの思いを抱きながら時代を駆け巡った。

足利尊氏は新田義貞との連携で鎌倉幕府を倒し、後醍醐天皇は建武の新政を始める。が、これが公家中心の政治であるため、武士の反感が高まっていく。武士の不満を結集した尊氏は、新政に反旗を翻し京へ攻め上るが、天皇側についた新田義貞の軍に敗れ、兵庫から船に乗り命からがら九州へ敗走するのである。しかし、彼はこの窮地に直面して決してあきらめることはしなかった。

日本の古代末期から中世にかけて混沌とした南北朝の動乱を、足利尊氏を主人公にして描いた本に吉川英治の「私本太平記」がある。今から960年前の鎌倉幕府の崩壊と新しい権力をめぐり、公武の対立を通してながら歴史の大きな転換期に懸命に生きようとする人物を敵味方に色分けすることなく、この本は慈しみの目でながめている。この時代には、足利尊氏のほかに後醍醐天皇、楠木正成、新田義貞など、歴史上名高いそうそう

九州に逃れた尊氏は、ここで勢力を蓄えるやいなや間髪をいれずわずか1箇月半後には九州を発し、反転攻勢に打って出るのである。このように尊氏の時機を的確にとらえた判断力と行動力には目を見張るものがある。

海と陸から東征する尊氏軍は、兵庫湊川で楠木正成、新田義貞の連合を撃破し、ついに京へ上るのである。思えば関東から九州まで国土の半分を縦横に疾駆した尊氏のエネルギーには、ただただ感嘆するばかりである。

一度は官軍によって壊滅的打撃を被った尊氏の軍が九州へ都落ちするときに、尊氏がただ無為に敗走するのではなく、捲土重来を期して着々と布石を打ったことに対し、戦勝に酔って尊氏を追撃しなかった新田義貞の詰めが甘さが、来るべき歴史的合戦に及んでの決定的な判断の違いになってあらわれるのである。

後醍醐天皇は、英知と実行力があるがために、倒幕を企てるが、これが発覚して隠岐へ流される。尋常ならざる苛酷な時代背景を痛感する。帝は、しかし、島を脱出し、京へ掃還することに成功する。

幕府の滅亡、建武の新政へと歴史は激変するが、足利尊氏の反撃にあつて、建武の新政はわずか2年で崩壊し、後醍醐天皇は吉野へ逃げのびるのである。新田義貞は、足利への反抗心か

ら官軍につき、建武の新政に反対する尊氏の軍を海へ敗走させる立役者となるが、この時代に追走しなかった決定的ミスのため、その後尊氏の反撃を許すだけでなく、湊川の合戦では尊氏の陽動作戦に簡単にひっかかり楠木正成を見殺しにするなど、重大な失敗を重ねている。ことに及んでの判断のタイミングとの確さは、情況の浮沈にかかわる重要な要素なのである。

楠木正成は、かねてその知将ぶりが天皇の耳にも達していたので、帝から尊氏討伐の諭旨を受けるとこれに応じて兵を上げる。先々まで読むことのできる正成は、勝利の可能性が乏しいことを知りながら、湊川の合戦では尊氏の軍に包囲され、自刃して果てるのである。帝の勅命とはいえ敗け戦に赴く楠木正成は、果たして何を思ったのであろうか。

京に新しい幕府を開いた尊氏は、正平13年(1358年)54歳でこの世を去っている。足利幕府では身内同士の争いが絶えず、依然混乱が続いている。死期が近づいた尊氏は、足利の行く末を思い悩んだであろう。彼は、この人だけは



一般投稿

「初めての海外旅行」

金丸洋子（札幌）

「北クリニック友の会」では、昨年第2回ハワイ旅行の綿密なアンケートを行い、その結果に基づき会長が院長先生に依頼実現できました。院長先生、ナース同行の好条件でしたが、締切り頃には患者会特有の体調不良等で不参加が

続出、物事思い通りに進まず、上立つ人は本当に御苦勞様でした。患者8名家族2名、先生、ナース、添乗員と、お客が10名に3名のガード付きデラックス旅行でした。出発前は、経験者の話とガイドブックで目的を観光に絞りプランを練りました。本当は円高の最中、沢山のお買い物でもできると女心も満たされたのでしようが、普段の遊び過ぎで、懐具合も淋しいので世界の有名ブランド店は素通りです。ハワイ2度目の会長「啓三さん」を頼りに、サンセットクルージング、カウアイ島めぐり、ハナウマ・ベイ、シーライフパーク等を胸に秘め、お金の両替、パスポート、ケースの準備等、教えられるままに、ようやくの思いで準備完了です。自分で考えられたのは定期薬以外の痛み止め、眠剤等をしつかり持参した事位でしょうか。9月6日、ハワイ到着瞬間の雰囲気、これは国内のようなわけにいかない事を直感、自分で歩く事は放棄、人について歩く、連れて行っていただく主義で5日間を乗り切る決心をしました。自分の必要とするところに日本語あらず、コインの見分けもちよつと素直でありません。信号も手の平の形が振られたり全くわかりません。現地の人について歩くのは、増々困難です。要するに初めての海外にしては自分の年齢が行き過ぎたのでしよう。でも自分の病院のツアーですから必ずどなたかが私を忘れることなくエスコートしてくれます。それに、レディーファーストですから少しポーツと抜けている方が良い事もあるのです。笑顔でハイハイで毎日が快適で忙しい日程も楽しく過ぎてしまいました。予定のスケジュールを総て実現できた事、快晴であった事、免税店のショッピング、アラモアナショッピングセンターの巨大さ、このショッピングは偶然、添乗の赤倉さんと一緒に何の苦も無くたくさんのお店を見せていただきました。総てに思い残す事なく幸せな旅で人生の大きな思い出となりました。又行ってみますか」と尋ねられたなら、通訳同伴でお願いしたいですね。本当に日本語は難しいのでしようか、やさしいのでしようか、以前我が家に居た留学生の心が痛く

生きてほしいと願っていた楠木正成を死なせ、新田義貞を滅ぼし、後醍醐天皇は吉野に追いやった。実弟を毒殺し多くの民を苦しめ、国土は荒廃したままである。足立のためを思いながら戦いに明け暮れてきたが、世は果たして平和を取り戻せるのだろうか。尊氏は自問自答しながら苦闘するのである。死に臨んで自分の過去を振り返るとき、どのように自分の人生を思い評価することができるのだろうか。尊氏の死に際しての苦悩は人

の生きざまを問うているこの物語のテーマだと思う。私は、腎不全になってからは、残された時間は少ないと思うようになり、読書の意欲がわいて、透析中は新聞や本を読んでいる。この「私本太平記」は、透析導入後最初に読んだ本である。私は、この本を南北朝動乱期に活躍した人々の個性豊かな生き方について興味をそそられながら読んだ。今も好きな歴史小説を読みながら透析時間を楽しく過ごしている。

感じました。

会員の皆様も、一に透析、二に仕事、そして時間があつたなら、他の病院の透析も経験してみましよう。きっと、それぞれに自分の病



院の良さ、院長先生の穏やかさ、温厚さ等に、安心感、満足感を覚える事と存じます。透析者は、透析を信じて毎日努力致しますよう。

■おくやみ

三浦 春 雄様

平成5年10月31日、逝去されました。透析歴5年、67歳でした。夕張腎臓病患者友の会前会長であり、道腎協の幹事を務められていました。長い間の活動に敬意を表し、ご冥福をお祈り致します。

■ご寄付

網走の浜田博義様よりご寄付を戴きました。

大切に使用させて頂きます。ありがとうございます。

運転免許試験場で

腎提供登録運動

長い間要望していましたが、運転免



許試験場での腎提供登録の運動が札幌の手稲運転免許試験場で許可されました。道腎バンク・市立札幌病院腎移植センター・道腎移植者会・道腎協の4者で、8月から毎月1回、腎提供登録運動を始めました。この動きを全道の運転免許試験場へ拡大していくようにするつもりです。

☆投稿募集

機関紙「どうじん」への投稿を募集しています。どんな事でも良いです。透析の事、日常生活の事、趣味、特技、旅行、仕事、その他、イラストなども募集しています。

患者さん、ご家族の方、スタッフの方など、どしどしお寄せ下さい。また「どうじん」を読んでの感想、ご意見、要望などもございましたら、お寄せ下さい。

特に「どうじん」にこんな事を載せてほしいなどのご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

編。集。袋。記

■私事ではあるが、最近、自慢の家が完成した。人生でひとつの節目という感じが。後は、嫁さんもらえと外野が騒がしい。ほっとしてくれ!!(川村)

■今年度より編集のお手伝いをさせて頂くことになりました。今までは手元に届けられるまま気楽に読ませて頂いてましたが、これからは、意識して活字に親しみ日頃の勉強不足

を補い更に欲張って諸先輩の知恵と情熱を思いっきり吸収し、「どうじん」がますます素晴らしい機関誌に発展しますよう、また皆様の心の依拠となり得る事を確信し、頑張りたいと思います。

最後になりましたが、投稿頂いた皆様にご心からお礼申し上げます。(久原)

■今回、編集委員の仲間に入りました、神座です。では、私の自己紹介を少々。

40代も目の前という頃、フィットネスを始めました。両足人工骨頭、両肩カルシウム沈着と障害がある中、最初は、体の関節がギンギン音を立てているようでしたが、友人又良いインストラクターに恵まれ、1年数ヶ月が過ぎ、これからは続けられそうです。

今後、微力ながら頑張りたいと思いますので、よろしくお願致します。(神座)

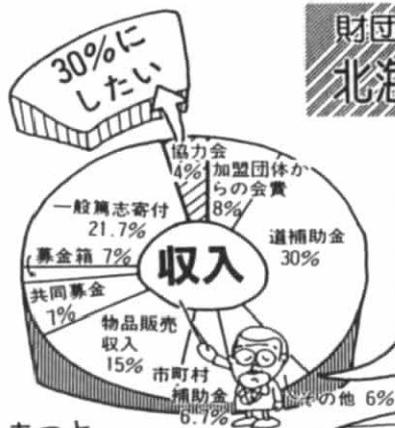
臨床検査値（正常値と透析者の維持レベル）

項 目	正 常 値	血液透析維持目標	コ メ ン ト
尿素窒素 (BUN)	8~20mg/dℓ	透析前80以下	
クレアチニン (Cr)	0.7~1.4mg/dℓ	“ 16以下	体格(運動量)、活動性により差がある
尿酸 (UA)	2.7~6.5mg/dℓ	“ 9以下	通風発作を起こす人は、さらに低くする
ナトリウム (Na)	135~150mEq/ℓ	正常値	
カリウム (K)	3.5~5.3mEq/ℓ	“ 正常値	CAPDではむしろ低値に注意する
クロール (Cl)	98~108mEq/ℓ	正常値	
カルシウム (Ca)	8.5~11.0mg/dℓ	“ 8.5~10.5	
リン (P)	2.7~4.3mg/dℓ	“ 3.0~6.0	理想的には4~5.5の範囲
マグネシウム (Mg)	1.5~3.0mEq/ℓ	“ 3.0以下	
赤血球数	450~500万/mm ³	“ 270万以上	
ヘマトクリット (Ht)	40~45%	“ 25%以上	
白血球数	4,000~8,000/mm ³	“ 正常値※	※血液透析患者では、正常値より少ない
血色素濃度	12~18g/dℓ	“ 9g/dℓ以上	
血小板数	12万~28万/mm ³	} 正常値	
好酸球	0~7%		
血清鉄	70~200 μg/dℓ	} 50以上	貯蔵鉄を表す
不飽和鉄結合能	120~270 μg/dℓ		
フェリチン	男80~250ng/ml 女60~120ng/ml		
総コレステロール (T.C)	130~230mg/dℓ	230以下	} 動脈硬化のリスクファクター
中性脂肪 (T.G)	40~110mg/dℓ	200以下	
HDLコレステロール	35~82mg/dℓ	30以上	いわゆる“善玉コレステロール”
血清総蛋白	6.0~8.0g/dℓ	6.0以上	
S-GOT	40IU/ℓ以下	} 正常値	肝機能の指標
S-GPT	35IU/ℓ以下		
アルカリフォスファターゼ (ALP)	70~220IU/ℓ以下		
LDH	100~600IU/ℓ		
総ビリルビン	0.2~1.0mg/dℓ		
アルミニウム	3~9 μg/ℓ	10以下	60~100以上は中毒の危険
β2-ミクログロブリン	0.7から2.0mg/ℓ	30以下	できるだけ低いことが望ましい
副甲状腺ホルモン (C-PTH)	0.4ng/ml以下	4以下	30以上は副甲状腺摘出手術が必要となる
心胸比	50%以下	透析前 男50%以下 女55%以下	水分摂取過剰、心不全、心筋症などで大きくなる

各施設などで差がありますので、透析を受けている施設での指導に従って下さい。
検査値の単位なども違う場合がありますので、ご不明な点は施設にてお尋ね下さい。

財団法人
北海道難病連の協力会にお入り下さい

1口2,000円を毎年1回ご寄付下さい



将来の安定した財源の確保のためには毎年1口2,000円の寄付を下せる協力会員が1万人必要です。2分の1は、部会(疾病別患者会)や支部の収入になります。



もっと

支部づくり

地域の仲間と地域の医療と福祉の向上を!!



・要望・陳情・請願活動
・患者と家族の生活を守ろう



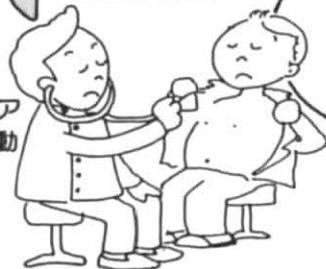
全国の仲間と世界の仲間と

難病センターの運営も

難病連の運営

難病無料検診・相談会

相談活動や援助ボランティア活動



早期発見早期治療
原因の究明、治療法の開発を

支出

調査・研究・啓蒙活動
レクリエーションにも



部会

部会の運営

疾病別に25団体

機関紙・ニュースの発行



医療講演会

お申込みは 北海道難病連または、道腎協へ

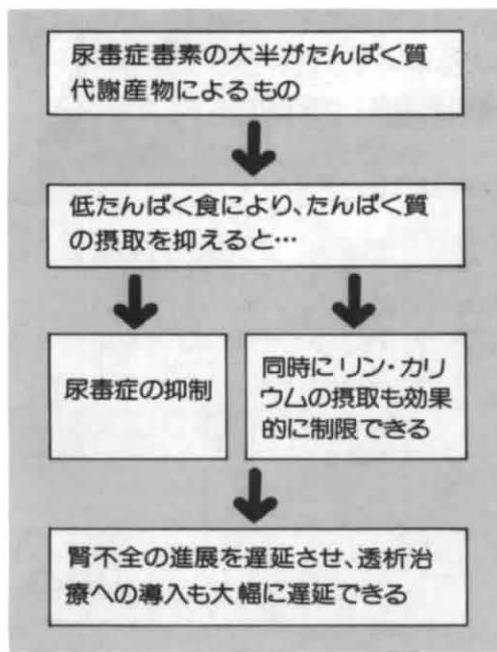
協会費の2分の1が部会(疾病別患者会)や支部の収入になります



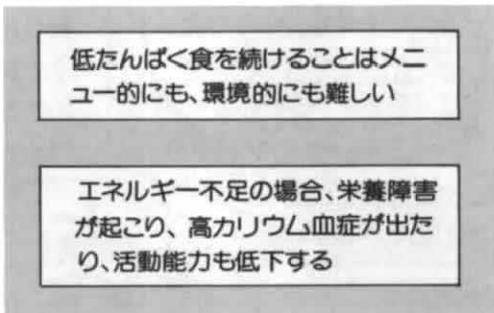
ご入会 は 札幌市中央区南4条西10丁目

北海道難病センター TEL 011-512-3233

（エンジョイの効果は、 こんな論拠で示されています。）



しかし



●社会復帰を前提とする患者さんにとって、活動の増加や外食機会の増加は必然です。今までどおり低たんぱく食を続けていくことに困難が出てくる場合も考えられます。

リンやカリウムを低く調整しながら、普通に近い食事のエネルギーが摂取できる食品があればいいのに

そこで

食事メニューの中のたんぱく質の一部を「エンジョイ」と置き換えるだけで、リンやカリウムを低く抑えることができ、かつ、良質なたんぱく質をとることができます。

1993.6
特定保健用食品
第1号として
厚生省より認可
されました



左記低リン食品について資料をご希望の方は、官製はがきに  を切り取って貼り、〒、住所、氏名、電話番号、年齢、透析年数、透析病院名をご記入の上、下記へお送り下さい。

札幌市白石区流通センター1丁目11番17号

森永乳業株式会社札幌支社
低リン食品担当係

TEL (011) 865-2821(直通)

